

## 第6回水木しげるロードリニューアル基本計画・基本設計検討委員会 議事概要

日 時 平成27年2月10日（火） 13:30～15:10  
場 所 境港商工会議所 大会議室  
出席者 別紙

### 1. 開 会

### 2. 委員長挨拶

水木しげるロードのリニューアル基本設計もいよいよ大詰めを迎えた。今後のハード整備がより発展するように、我々も協力していきたい。

今回の委員会は、前回委員会の堀教授による最終案の説明に対して、各部会より意見をいただき、可能な限り設計に反映していきたい。

また、車道と歩道の舗装パターンを決める。上物については、今後決定する。

### 3. 基本設計案に対する各部会意見の報告

■道部会 梶田部会長が、資料1に基づき説明。

■沿道部会 権田部会長が、資料1に基づき説明。

《道部会》

#### (1) 車の進入路について

水木ロード郵便局（大正町）に車の進入路を確保する。

⇒異議なし。

#### (2) 植栽について

しおさい会館前の杉の木を切らずに残す。

○委員

イベントスペース設置（※沿道部会からの意見）の有無にもよる。

○委員

50年も経った木を簡単に切ってしまうのはどうかと思う。松ヶ枝町にも30年くらいの木があるそういうものを切ってしまうと、新しく植えても簡単に木陰はできない。何とか生かせる方法を考えてほしい。

●事務局

今回の杉の木は50年も経ってずっとそこに生えていたという思いも皆さんにあるということでお伺いしているので、もし取るのであれば移設を基本に考えたい。

○委員長

今回の話は、ここに残したいということか。

○委員

出来れば残してもらい、上手に使ってほしい。イベントスペースを作るという

ことであれば、移設して使ってほしい。

○委員

イベントスペースの設置有無はいつ誰が決めるのか。ここで決めるならその結論が出てからにしてはどうか。

○委員長

このことは、後に議論する。

(3) 照明について

総合的なプロデュースについて、来年度の詳細設計で検討する。

⇒異議なし。

(4) ベンチについて

ベンチの数、配置等について、細かいことは事務局に一任する。

⇒異議なし。

(5) 舗装

後程、次第4「舗装についての意見交換」で議論する。

《沿道部会》

(1) イベントスペースについて

しおさい会館前に屋根付きのイベントスペースを作ってほしい。

○委員

イベントスペースでは、どんなイベントをするのか教えてほしい。それが分かれば検討しやすい。

○委員長

振興会さん、どうですか。

○副委員長

現在、記念館の前庭でイベントを行っているが、その他に水木しげるロード内では、場所がない。しおさい会館前のパブリックスペースであれば、例えばカニ汁の振る舞いなど、調理する場合に非常に便利で大変に有効に使わせていただいている。その他、いろいろなイベントの活用方法は膨らんでくるということで、ぜひともスペースの有効活用をさせていただきたいというお願い。

○委員

今年の正月にカニ雑煮の振る舞いを行った。飲食の振る舞いで主に活用している。ただし、以前、振興会のほうで、「河童の泉」でゲタつみ大会をやったが、天候の具合で中止になったこともあったので、そういったイベントでも活用できるのではないか。記念館の前庭とイベントスペースの両方を利用出来るのではないか。ここを使う細かいイベントはもってこることが出来ると考えている。

○委員長

個人的な意見だが、屋根付きは問題があると思う。誰が管理するのか。これからの財政的な状況で市は無理だと思う。

スペースがあれば、屋根は仮設テントでも十分ではないか。毎日でなく、イベ

ント時だけであればそれでもいいのではないか。

○委員

イベントスペースがあるに越したことはないが、どの程度の頻度でイベントをやるのかが問題。今までは、駅前とか河童の泉とか記念館の前庭とか、雨の場合は、本町アーケードの下でカバーしてきた。

どのくらいの規模で屋根をつけるか、具体的にこれをどうするかイメージがないと検討できないのではないか。費用の問題もある。誰が管理するのかの問題もある。そういうのがないとここでは結論が出づらい。

本町のアーケードのあるところで何とかカバー出来るものであれば、やればいと思う。

屋根があるに越したことはないが、費用対効果とか苦しいものがある。

○委員

屋根の規模や構造などが分からないと、この場で結論が出ない。

○委員

屋根があっても、必要なのは雨の時だけである。

○委員

イベントをやるときに雨が降ったらどうするかというのが、必ず注釈が入る。そうすると、本町アーケードになる。1回、河童の泉でやったことはあるが、絶えず心配していないといけないし、なかなかテントというわけにもいかない。出来れば西と東にイベント会場があれば。お金をかけてイベントをすることが出来ないで、そういう意味でいいなと思う。

○委員長

松ヶ枝町にもアーケードがあるが、それらの屋根付きの施設ということになると事務局はどう考えているか。

●事務局

商店街の屋根の議論は、来年度から商店街さんを中心に行う。

ここは、しおさい会館前に近いということと、約100坪あり滞留スペースでは一番大きいということ、駅から来る観光客をお迎えするエントランスとなる特殊なゾーンであるということに間違いはない。堀先生からは、ここにたくさんのベンチを置いて、ゆっくりお客さんに休んでいただいて、待合せ場所などに使ってはどうでしょうかとご提案をいただいている。ここでは結論が出ないと思うので、イベント広場の活用を含めて、詳細設計に申し送っていただけたらと考えている。

○委員長

ということは、一応、堀教授にぶつけるということか。

●事務局

イベントスペースを作った後の活用方法を具体的に水木しげるロード振興会の方で提案していただいて、梶田委員が言われるように費用対効果がどうあるのかというところもみないといけないので、それはお願いしたいと思う。

○委員

「夢みなと公園」の舞台に音楽のイベントをするために県に屋根を作ってもらった。来年度の予算で電気も使えるようにする。舞台だけ屋根をつけるか、見物人の方も含めた屋根を作るかで、ものすごく費用も変わってくる。それをはっきりさせないと。200人、300人の屋根を作るといってもそれはどうか。見た目も悪い。それを整理したほうがいい。

○委員

沿道部会の時、景観の問題、メンテナンスの問題が出た。軒程度であれば良いが、大きい屋根を作ると景観を損なう。そこが心配。

○委員

機会があれば、「夢みなと公園」に行ってみていただきたい。

○副委員長

近々、見に行く。

○委員長

屋根については後にして、イベント広場については、どうか。

○委員

それは、堀さんの意見とは違うわけだから、簡単な話ではない。イベントは毎月やれば良い方であるが、私はイベント広場に反対。

○委員長

振興会はどうか。

○副委員長

イベントが出来るスペースとして、活用させていただきたいという発想から始まった部分であるが、屋根があったほうが、雨よけ、日よけになれば良いという思いに行きついた。先ほどからの費用対効果というところで、年に何回のイベントをするか、何人くらいのお客さんを集客出来るか、具体的な検討を行ってはいない。振興会としては、どのような活用が具体的に出来るのかということをもう一度持ち帰って精査させていただきたいと考える。過去は餅つき大会とか、カニ汁の振る舞いとか、先般はカニ感謝祭のときにカニ雑炊をしおさい会館前で、配布して大変大勢のお客様が先ほどのポケットパークのところで召し上がっておられたという姿を見て、あった方が良いという判断をしていたところ。持ち帰って検討し、その結果を報告させていただきたいと思う。

●事務局

基本設計の中で結論が出るわけではない。基本設計と実施設計の間に、振興会に計画をまとめていただいて、再度実施設計に入る折にこういう規模でほしいというものをまとめていただき、実施設計の方で検討していきたいと思う。

○委員長

イベントスペースについては、実施設計までに振興会で検討していただくということでよいか。

○委員

堀先生にこういう意見が出たということで検討してもらってはどうか。

○委員長

しおさい会館前のスペースにはベンチも増えるため、カニ汁の振る舞いの際も利用できる。それは実施設計で考えてもらいたいと思う。

(2) ベンチについて

固定式、可動式の両方が必要。

○副委員長

可動式であれば、いたずらで放り投げられたりということも想定される。夜はお店や、お店とお店の間に収納するとか出来る限り管理したいということの意味している。

○委員

前向きな話でいくと、固定式にすると、超繁忙期にどうするかという問題もある。一部可動式にしてもらって、ただし、その保管場所や保管方法を具体的に検討する必要があるかという話。

●事務局

堀教授の提案は、固定、可動にこだわっていない。

ベンチの管理方法も、議論していかないといけない。

基本設計の段階では、数と配置をご提案させていただいているというところで、留めさせていただきたい。

○橋委員

第3回の部会で、本町アーケードにベンチがほしいと提案したが、その後どうなったか。休憩スペースとしてアーケードの中にもベンチがほしいという意見がある。既存のベンチはどうするのか。景観の問題もある。その辺を事務局はどう考えているのか。

●事務局

本町アーケードは車道のため、基本的にベンチは置けない。置くためには、警察の許可が必要。いま置いてあるベンチをどうするかという問題もありますし、今後置くのであれば、許可を取っていかなくてはならない。

お店や企業が持っている既存のベンチの利用方法は、振興会、商店街が主になって方向性を出してほしい。

(3)、(4) ブロンズ像の配置等

全体のバランスを考慮して配置を行う。ブロンズ像が少なくなった場所には、別の手法で賑わいを出す。

○副委員長

ブロンズが移設して無くなったところに、電柱等のオブジェを置くなどの処置をしてほしい。もしくは新たにブロンズの設置が望ましい。

●事務局

駅前が無くなった部分は、ブロンズを増設する予定。駅前については、来年度

関係者で検討を始める。

ロード内もかなりの増設をしている。配置は、一任ということでお任せいただいております、グループ分けや、スペースなども含めて検討いただいたので、この配置でいきたいと考えている。

#### (5) 本町アーケード

道へのイラストが描けなかった場合、ブロンズ像の設置が必要。

##### ○委員

各店舗を回ったが、本町アーケードにブロンズ像がないと、人が来なくなるため、ブロンズ像を残してほしいというのが全員の意見。

また、要望だが、木村の花屋の前のポケットパークにある道しるべ看板を、本町アーケードの東側の入り口にもおいてほしいという意見もあった。

民間の駐車場スペースを活用してほしいとの申し出があったので、観光協会や市で使ってほしい。

ナショナル会館跡地も駐車場になるということなので、東側に駐車場が増える。

##### ●事務局

本町アーケードには、ブロンズ像の配置計画がない。道路にイラストを描いてはどうかというのが、水木プロからのご提案になっている。警察署との話で基本的には路面には描けないが、路肩の一部については協議によっては、弾力があるため、イラストを描ける可能性がある。

今のブロンズ像の設置位置については、車道か民地かもう一度確認を行う。基本的には車道内にはブロンズ像は置けない。

##### ○委員

道の見直しによっては、置ける可能性もあるのか。

##### ●事務局

民地には置けるが、車道、路肩には、基本的に置けない。

先ほどの誘導サインについては、交通誘導なども含めて、詳細設計の中で検討していく。

##### ○警察署

歩道は、車道と物理的な構造物で分けられてないと、法律上歩道にならない。車道へのイラストは、国の指針で、注意喚起をするサインであれば、許可できるが、それ以外のものであれば協議となっているが、事実上不可能。

車道を廃道にして、広場にすれば可能。

路肩の歩行スペースへのイラストについては、検討の余地があるので、事務局と検討していきたいと考えている。

##### ○委員

鳥取市の「ビッグバード」のように、現状では、車は通るが、屋根付きの広場として使われているので、あまり中に構造物を作らず、広場として使ったらどうか。実質も車は通るが広場として使われている。ブロンズについてもぽつぽつ置かず、広場のほうがいいのではないか。個人的にはそう感じる。

○委員

ブロンズ像は絶対に残してほしいというのが皆さんの意見。観光客みんなが写真を撮っている。

●事務局

今の提案は、お客さんに絵で東端まで行ってほしいという考え。イラストが車道には描けないということだが、水木プロも車道に拘っているわけではないと思うので、路肩でブロンズに変わる工夫を出来るようなものであれば、それで検討したい。木村委員がおっしゃったが、やはり、イベントはここが中心となるので、出っ張ったものがないほうが、よりやり易い。幅員が狭いところが広いところと同じ形態で競争しても勝てない。アーケードがあることで違う魅力を出せるように考えている。これは東大にもふってみる。

○委員

そういうふうに言えばいいということか。

●事務局

はい。

○委員

路肩は本町アーケードにあるのか。ブロンズ像を車道には置けないと言っていたが。

●事務局

路肩へイラストを描ける可能性はある。

○警察署

路肩、路側帯の歩行者が通行する部分で、イラストの可能性を今後探していく。

○委員

本町アーケードの棧にも描いてもらえるのか。屋根にもデザインをしたいという案も出ている。

●事務局

それはアーケードを今後改修されるか分からないが、その事業の中でお考えになっていただきたい。当然、水木プロの方とも協議していただいて許可をいただく必要がある。

繰り返しになるが、基本設計の中では、アーケードの路側帯に絵を描いていくという方向で検討していく。ご理解をいただきたい。

○委員

今の八木橋委員の意見は、ブロンズをそのまま残してほしいという意見が強いと思ったのですが。

●事務局

基本的には、グループごとに移設し、アーケードの中には置かないというのが基本設計の考え方。可能性があるということなので、絵を描くということで協議をしていく。もしそれがだめだったらブロンズの設置ということも再度検討する。

○委員

ブロンズ像の配置については、水木プロに任せるということで進めてきた。この流れの中で計画を出している。八木橋委員の言うのも分かるが、本来は、もう少し早く残してほしいと言っておかないと、みんながいろいろ言うときりがない。

●事務局

配置とグループ分けについては基本的にこれでいきたい。イラストがだめになった時には、ブロンズ像を新設で考える。

○委員長

そういうことで皆さんよろしいでしょうか。

⇒異議なし。

(6) 植栽

笹竹は、取ってつけたイメージ。季節感のあるものや水木マンガのイメージで再度検討が必要。

植栽については、詳細設計で検討する。

⇒異議なし。

(7) 誘導ブロック

黄色以外の色について詳細設計で検討する。

⇒異議なし。

(8) 舗装

次の次第4「舗装についての意見交換」で議論する。

#### 4. 舗装についての意見交換

事務局より、舗装についての素材別パターンイメージ図及び素材見本について説明。

○委員長

この委員会で、材質まで決めるのは難しい。

先ほど出ていた人にやさしい材料を使うということで、歩道を「洗い出し」で、車道を「石」という意見があったが、その逆の意見もあった。

一応、車道、歩道の材質を分けるということで事務局に一任したいと思うがいかがか。

⇒異議なし。

○委員

材質は、事務局一任でいい。それでなければ、多数決になる。多数決が決して正しいというわけではない。

○委員

滞留スペースのパターンも作ってもらいたい。

○委員長

滞留スペースは、ワンパターンではなく、色々なパターンも作りたい。実施設計で皆さんにも相談したい。

●事務局

滞留スペースについては、「石」、「洗い出し」、「レンガ」、「セラミック」、「木」の5種類を本日提案した。

○委員長

それらを使いながら場所を変えていくということか。

実際にある程度、実施設計に入ると榊田委員が言われたようにコーディネーター的な人が必要になると思いますので、そのあたりは事務局にお願いします。

●事務局

組み合わせ、色彩についても、水木プロと専門家に相談した上で実施設計で提案する。

○委員

耐久性などメリット、デメリットを整理し、資料をで明示して提案してほしい。

○委員長

本来は、堀教授のほうから、素材の特性など比較した資料が出てくるべきだと思うが、今回はそれが無理なようだから、あえて事務局の方で今日の資料を揃えてもらった。この会で検討した意見を堀教授に上げる。

## 5. その他（事務連絡等）

●事務局

第7回の委員会を、3月中旬以降に変更したい。

以 上